

平成28年度
第11号

生駒学園だより

[発行・編集]
〒579-8014
東大阪市石切町2丁目5番5号
児童養護施設 生駒学園
TEL 072-981-1005
FAX 072-981-1029

ごあいさつ

施設長 竹田 功

平素より多大なるご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。三月は別れの季節です。今年も七人の高校生が、各々の進路も決まり、巣立っていきました。乳児院からの措置変更で二歳から十六年間の長きに亘って施設生活を送ってきた子どもがいます。「大きくなったな」と逞しさを感ずる反面、これまで施設での生活しか経験していない子どもが、社会に出ていくにあたり、不安も感じています。どうか職場の皆さんに受け入れられ、可愛がられますようにと、切に願っております。また、大学や専門学校に進学する子どももいて、一人が施設からの進学となります。最近では子どもの貧困問題が大きく取り上げられていて、子どもの将来が親の収入に左右されることなどが、いよいよと叫ばれています。施設に於いても高校卒業後に進学する入所児童は、全国平均で二十%程度で一般家庭と比較するとかなりの低い割合で留まっているのが現状です。進学する場合は入学金や授業料の支払いなど、経済的な問題で断念せざるを得ない状況があります。国の制度や、各種団体・企業からの給付型奨学金制度が徐々に広がりを見せていますが、まだまだ不足しているのが現状です。今後は、更なる制度の充実を図って頂き、施設で暮らす子どもたちに夢と希望を与えていただけるように願っております。

学園行事紹介

【楠木ライオンズ
クラブ訪問行事】

毎年、当園へ訪問して頂き、子ども達と一緒に餅つき大会を開催しております。恒例行事となっております。子ども達は一生懸命お餅作りを楽しんでいました。



【MCF&BBS
招待行事】

今年度はMCF・BBS合同での招待行事を開催して頂きました。子ども達を京都は比叡山へ招待いただき、スケッチブックを片手に紅葉を散策するなど、楽しいひと時を送ることができました。



【関西・子ども・夢チャ
リティー 招待行事】

施設で育つ子どもたちの夢を応援する団体で、ユニバーサルスタジオオジャパンへ招待して頂き交流を深めました。



【東ロータリー
クラブ招待行事】

毎年、たくさんの招待行事を開催して頂いております。今年度はブルーメの丘へ招待していただき、RCのみなさんと一緒に交流を楽しみました。



【児童施設間交流】

児童養護施設は大府下だけで約40もの施設が存在します。そのうち定期的に行っている交流も定期的に行っており、サッカー大会・フットサル・キャンプなどがあります。



園内行事



生駒学園では四季感じ取れる行事や季節の食事を提供すると共に、子ども達の安全の為、日頃から避難訓練、災害訓練を実施しております。

【勤労感謝の日
清掃奉仕活動】

生駒学園では毎年、勤労感謝の日にお世話になったの地域へ、恩返しとして、清掃活動を行っています。地域の音川・石切神社・中石切公園などに行っています。





【(株)ベネシード
訪問行事】
ベネシードによる
訪問行事。多く
の子どもに訪
問し、児童の
生活の様子を
見学し、交流
を深めています。

ご寄付・ご寄贈 一覧

【ご寄付】(敬称略・順不同)			
1 合川 美知代	37 川村 千枝子	73 田中 利親	110 法照寺 寺田 完英
2 伊豆 美保	38 河村 忠二	74 谷内自動車整備工場	111 堀田 光朗
3 伊藤 清子	39 河村 やよい	75 田村 精造	112 堀口 実
4 岩倉印刷紙業(株)	40 菊岡 るり子	76 丹下 千恵子	113 堀部 富子
5 岩崎 隆洋	41 岸野 敏男	77 中間物商(株)	114 政とみ
6 岩崎 嘉徳	42 北橋 幸和	78 塚本 和子	115 樹田 幹夫
7 岩田 祐好	43 木下 祐一	79 出口 文子	116 松下 彬子
8 植田 哲二	44 木ノ本伸線(株)	80 徳見 朋子	117 まるいち衣料店
9 上田 博司	45 楠林 慎爾	81 徳山 性七	118 まるよし家具
10 上野 喬	46 久保 進一	82 富岡 和子	119 三尾 孝子
11 鶴岡 眞夫	47 久保板金塗装工業(株) 代表取締役 久保 勝美	83 中川 千佳子	120 美野 悦子
12 馬谷 登	48 小林 知子	84 仲村 克彦	121 森山 秀美
13 橋本 紀子	49 小林 正子	85 中村 浩	122 安田 龍郎
14 エースグループ	50 小森 清道	86 中村 容子	123 安平 正男
15 恵比須 悦子	51 小山鋼材(株)	87 中村 芳江	124 山口 保代
16 遠藤 郁子	52 近藤化学工業(株) 近藤 力	88 奈良保育学院	125 山崎 義美
17 及川 重雄	53 西興寺 北中 廣興	89 西田 秀弘	126 山下 テツ子
18 オーエッチ工業(株) 代表取締役 清水 義道	54 西庄寺 松井大照	90 西野 あきら	127 山村 ミヤ子
19 大上 壽一	55 阪上 常雄	91 西村 明子	128 山森 広式
20 大阪教区豊島北組佛教婦人会連盟	56 佐川急便(株)	92 日栄化工	129 矢本 陽子
21 大阪教区佛教婦人会連盟	57 澤 美知子	93 日本電動特許株式会社	130 (有)西沢保険オフィス 代表取締役 西沢 和之
22 大阪市立 汎愛高校 手芸部	58 四條暁学園ボランティア基金	94 野間 澄子	131 横山 永
23 大和田 育子	59 芝野有会社	95 橋本 一男	132 吉川 智
24 岡村 悦子	60 島津 尚文	96 橋本 剛	133 吉田 綾子
25 岡村 宗一郎	61 人生道場	97 畑上 晴江	134 吉田 忠義
26 岡本 照子	62 鈴木 貴	98 原田 安子	135 吉村 精仁
27 小川 澄子	63 砂田 直成	99 東口 広子	136 米田 雲子
28 奥田 ヨシノ	64 住友生命保険相互会社	100 東山 満行	137 若林 綾子
29 奥林 弘行	65 摂津市民生委員協議会児童部会	101 日比忠 輔 代表取締役社長 日比 敏史	138 和久田 忍
30 柏原塗装工業(株) 柏原 忠	66 高河原 多恵子	102 百武 一郎	139 和田 明子
31 鹿島 浩子	67 高木 満代	103 榎山 勝雄	140 榎嶋鉄工所 代表取締役社長 池崎 昇
32 株式会社 池崎鉄工所	68 高橋豊工業所	104 枚岡教会 マリヤ会	141 榎カフムラ電工 代表取締役 河村 幸司
33 株式会社 万代	69 竹中 正巳	105 藤本 政潔	142 榎坂印刷所
34 カルマ	70 辰巳 桂子	106 フジモリ モトヒロ	143 榎枚岡電化 代表取締役 上野 泰敏
35 河島 康子	71 田中 悦子	107 フジモリ ユカリ	144 榎伏見製菓所
36 河内家 保丸	72 田中 美智子	108 古川 キヨミ	145 榎マルニシ産業 西川 俊一
		109 プレス精工(株) 代表取締役 中川 澄郎	146 (株)大西衣料

「苦情申し出窓口」の設置について

社会福祉法第82条の規定により、本法人では、利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えることといたしました。本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めることと致しましたので、お知らせいたします。

記

1. 苦情解決責任者 竹田 功(生駒学園 園長)
2. 苦情受付担当者 小田 秀治(主任児童指導員) 橋口 孝子(主任保育士)
3. 第三者委員 山内 稔(大阪国際大学短期大学部 教授)
石田 肇(生駒学院 監事)
家常 恵(生駒学院 監事)

4. 苦情解決の方法

(1) 苦情の受付

苦情は面接・電話・書面などにより苦情受付担当者が随時受け付けます。
なお、第三者委員に直接苦情を申し出ることもできます。

(2) 苦情受け付けの報告・確認

苦情受付担当者が受け付けた苦情を苦情解決責任者と第三者委員(苦情申出人が第三者委員への報告を拒否した場合を除く)に報告いたします。第三者委員は内容を確認し、苦情申出人に対して、報告を受けた旨を通知します。

(3) 苦情解決のための話し合い

苦情解決責任者は、苦情申出人と誠意をもって話し合い、解決に努めます。その際、苦情申出人は、第三者委員の立会いを求めることができます。なお、第三者委員の立会いによる話し合いは、次により行います。

- ア. 第三者委員による苦情内容の確認
- イ. 第三者委員による解決案の調整、助言
- ウ. 話し合いの結果や改善事項等の確認

(4) 大阪府の「運営適正化委員会」の紹介

本事業所で解決できない苦情は、大阪府社会福祉協議会に設置された運営適正化委員会に申し出ることができます。

平成28年度 苦情11件

I. 子ども同士のトラブル(6件)

①他児との関係不良

②ちょっかいかけによるトラブル

近年、集団生活を行う児童において、「助け合い」「寄り添う」といったことが苦手な児童が増加している。自分の思いやルール、解釈が優先され、他児とトラブルになるケースがある。自分の行動と他児とを比べ、損得勘定だけで動いてしまい、相手に不快な気持ちを与えてしまうことに気付けない。また、感情のコントロールが苦手な児童も多く、他児へのちょっかいかけによるトラブルも増えている。

II. 子どもと職員間トラブル(5件)

①職員からの指導への不満

②施設ルールへの不満

③家庭に対する思い

職員からの指導に対して、「大人やからってえらそうにするな」と反抗的な態度をみせる児童が増えてきている。虐待による大人への不信・一般常識の不足・基本理解が難しく、自分ルールが優先され、都合が悪いと「納得できない」「意味が分からない」と周囲の責任にする傾向にある。そうしたことから指導に対する不満として意見があがってくることもある。

施設内に意見箱を設置し、常に子どもたちの声が聞こえる環境整備を目指している。子どもはその場の思いや感情だけが先走り、意見箱へ投書することがあり、事後になると「もういいねん」とクールダウンできている。児童によっては自分の思いが通らず、開き直す子もいるが、自分たちの意見を出せるようになってきている。

児童指導員 本
りご と付 す心様り寄企方 が学
ま感皆願いこ。か方立付業々生で園
す想様ったれ。らのっ・やの駒しただ
。をかて施か 感謝かお寄体理園でり
待のりでも 申しり贈様解はし第
ちごまあ地 しごまにか、地よ①
し意すり域 上支すよら多域う号
て見。たに げ援。りのくのかい
お。い根 まに皆成この。か

(編集後記)



た事自配いた寄ごNHまよりNH
し業転分た付者協H K H K
まに車金たの力K K した、配分
有及ははし者ののいた。た。た
効びははのののいた。た。た
適学ははのののいた。た。た
正学ははのののいた。た。た
に用ははのののいた。た。た
活購ははのののいた。た。た
用入ははのののいた。た。た
のののいた。た。た